

厳しい環境に耐えて咲く・・・

砂丘の女王“スカシユリ” 開花

海浜公園ネイチャーツアー「スカシユリ」開催 7/22(日)

国営ひたち海浜公園では、「砂丘エリア」を中心に“スカシユリ”が咲いています。多くの植物にとって過酷な環境である砂丘に、鮮やかなオレンジ色の花を咲かせるスカシユリは、“砂丘の女王”ともいわれ、かつてはこの地域の砂浜に群生していました。しかし、近年は開発や盗掘によりその数が激減してしまいました。

当公園では、現存する個体を保護するとともに、圃場(ほじょう)で球根を増やし、公園ボランティア『野生植物パートナー』や来園者の方々の協力のもと「砂丘エリア」に植え付けるなど、保護増殖活動に取り組んでまいりました。7月22日(日)には、スカシユリを始め、カワラナデシコなど、砂丘に咲く植物の観察会を開催いたします。

厳しい環境の中でも、力強く咲く海浜植物をご覧ください。



2012年7月17日撮影

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報宣伝チーム 青木・服部・和光

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

TEL: 029-265-9001 (報道関係者の方は 029-265-9004・9005 迄) FAX: 029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

スカシユリ ユリ科ユリ属

花期：7月上旬～8月上旬

海岸の砂地に生える多年草で、大きなオレンジ色の花を咲かせます。スカシユリの名は、花弁の下方が細くなって各弁の間に隙間ができ、透けて見えることに由来しています。梅雨時に上を向いて開花しますが、雨がこの隙間から落ち、水が溜まらない機能的な花の形をしています。

ひたち海浜公園のスカシユリ

スカシユリの咲く「砂丘エリア」は、乾燥しやすく、潮風が強い、植物にとって厳しい成育環境です。そこでスカシユリは、強い潮風に耐えるため地面を這うように低く育ち、短い茎の先に不釣り合いとも言える大きな花を咲かせます。また、光沢がある葉を持ち、太陽光を反射して葉の温度が上がるのを防いでいます。



すべて 2012年7月17日撮影



『公園事務所付近』

砂丘エリアから離れた事務所付近に咲くスカシユリは、その環境の違いから草丈の高いものが多く見受けられます。



『砂礫ガーデン』

野生植物パートナーの増殖活動により、近年ここに咲くスカシユリの数が増えています。



『砂丘観察園路』

様々な海浜植物を観察できる場所。このエリアのスカシユリは草丈が低く、強風が吹く環境に適応しています。

スカシユリにちなんだイベント

海浜公園ネイチャーツアー「スカシユリ」



「砂丘ガーデン」や「未開園地区」において、スカシユリやカワラナデシコなど、砂丘に咲く植物の観察会を開催します。

開催日：7月22日（日）
時間：10時（所要2時間）
集合：「海浜口・風のゲート」
定員：先着20名（事前予約）
参加費：200円
協力：茨城生物の会



スカシユリ増殖作戦！

公園内で育てたスカシユリの球根を、みんなで植えて群落をよみがえらせましょう！種を採取して新しい苗も育てます。ご参加いただいた方には球根をプレゼント。
開催日：10月14日（日） 時間：10時（所要2時間）
集合：「海浜口・風のゲート」 定員：先着30名
協力：野生植物パートナー

公園ボランティア 野生植物パートナー



スカシユリ球根の掘り取り（海浜園場にて） 2012/2/3



園場の除草作業（海浜園場にて） 2012/4/20

『野生植物パートナー』は、当公園内に自生する貴重な野生植物、その生育環境および樹林地の保全・維持管理を行うとともに、市民への啓発を行うことを目的として活動しています。平成18年1月に発足（※旧『海浜植物パートナー』、平成22年8月に名称変更）し、現在16名が登録しています。活動日は毎週金曜日で、球根の移植、野生植物の種子の採取、挿し芽などの増殖に取り組んでいます。

特に、スカシユリの増殖については重点的に取り組んでおり、球根の増殖、植え付けなどを行っています。毎年10月に開催している「スカシユリ増殖作戦！」では、植物や生態の解説から行事の運営まで主体的に行っているほか、地元の阿字ヶ浦中学校の生徒が同イベントに参加し、当公園で増殖した球根を同中学校に贈呈するなど交流を重ねています。平成22年度からは、砂礫ガーデンの修景のため、スカシユリ、カワラナデシコ、ハマギク等の苗の植栽をしています。また、絶滅危惧種に指定され、本公園にも自生しているハナハタザオの増殖および苗の植え付けにも取り組んでいます。



ハナハタザオの調査（砂丘観察園路にて） 2012/4/13



スカシユリの芽

「みどりの愛護」功労者として 国土交通大臣より表彰されました。

平成2年より毎年、みどりの日の制定の趣旨のもと、全国の緑の関係者が集まり「みどりの愛護」のつどいが開催されています。

そこでは、花と緑の愛護に顕著な功績があった団体が、国土交通大臣より表彰をされます。



「みどりの愛護」のつどい 2012/6/2



野生植物パートナーの皆さん（園場内休憩所にて） 2012/6/15

今年6月2日（土）に秋田県立中央公園で開催された第23回「みどりの愛護」のつどいにおいて、本公園の『野生植物パートナー』の活動が表彰されました。



ハマゴウ

クマツヅラ科ハマゴウ属

「砂丘ガーデン」を中心に園内各所で開花し、9月中旬頃までお楽しみいただけます。“ハマゴウ”の名の由来は、一説によると、枝葉が香りを持ち、浜辺に生育することから「浜香」となり、それが転じてこの名がついたといわれています。香りを持つ枝葉は古くは線香に用いられたとのこと。



カワラナデシコ

ナデシコ科ナデシコ属

カワラナデシコは、「砂丘観察園路」など園内各所で咲いています。“撫子”の名が付くように、可憐な花で草丈は30～50cm程度です。葉は対生し細長く、花弁は5枚で先がひらひらと糸状に細かく切れ込んでいるのが特徴です。花言葉は『純粋な愛情』。